

フレンキョウニュース

府中市学童保育連絡協議会

2019.11月号

府連協は、市内22学童のうち15の学童クラブから保護者が集まって情報交換をし、意見を出し合い、府中市の学童っ子たちが安心して楽しく放課後を過ごせるよう活動しています。

上半期の活動をご報告します。

■市へ改善を要望しました（7月30日）

昨年度、保護者の皆様に答えていただいたアンケートから、多くの方が「改善してほしい…」と思っている事を要望書としてとりまとめ、市へ提出しました。（内容を一部抜粋）

◎育成時間の延長 開館8時、閉館19時への統一

『保育園の時は19時までOKだったのに…』

『夕方、ひとりで留守番させるのは心配』

◎子どもひとりあたりの面積基準を守って

『学童児が増えて、十分なスペースで遊べている？』

◎指導員さんの増員を（現在欠員あり）

『子どもの人数に対して、大人の目は足りていますか？』

その他、多くの要望を提出しました。要望書の全文は、府連協のホームページでご覧いただけます。

■他市との情報共有をしています

三多摩の10市が参加する「三多摩学童保育連絡協議会」に加盟しています。近隣他市の学童にも府中に共通する様々な課題があり、それらを共有することで解決へのヒントを探っています。今年は7月21日に首都大学東京にて「三多摩学童フォーラム」が開催され、今の学童の現状や制度を学ぶ良い機会となりました。参加総数367名、府中からは18名が参加しました。

■市議会議員との懇談会をしました（8月2日）

提出した要望書に基づき、市議会議員の皆様と意見交換をしました。毎年提出している要望がなかなか実現しない現状をお伝えし、また保護者とは違う議員の皆様の視点で問題をとらえていただくことで、様々なご意見をうかがうことができました。

＜参加いただいた議員の皆様＞

にしみや幸一様、前川浩子様、稲津憲護様、西村陸様、竹内祐子様、西のなお美様、奥村さち子様、杉村康之様

★懇談会の詳細はホームページでご覧いただけます

■市から回答をもらいました（10月25日）

7月に提出した要望書に対し、市からの回答をいただきました。さらに市役所の子ども家庭部 児童青少年課から職員さんをお招きして懇談会を行いました。毎年のアンケートで上がってくる要望はほぼ同じ、それに対する市の回答もほぼ同じの堂々巡りにも見えますが、「子ども達のことを第一に、市としても現状のままでは良くないと思って検討を重ねています」とのお話をいただきました。また、「こうして上がってくる声はしっかりと重く受け止めています」とのお話もあり、要望の声を上げ続けていくことの大切さを改めて感じました。

＜参加いただいた市職員の皆様＞

府中市子ども家庭部 児童青少年課長 古塩様
同課長補佐 松本様
同放課後児童係長 三宅様

★市からの回答および懇談会の詳細はホームページに掲載予定です。

■府連協の活動内容を見直しています

近年、役員の負担の大きさを理由に、府連協活動から退く学童が続いています。こうした現状をふまえて、今年度も昨年に引き続き「役員の皆さんにとって府連協活動が参加しやすく、継続しやすい」ものになるよう改善しています。そのひとつとして、例年12月頃に実施していたアンケートを今年度は見送ることにいたしました。現状では、年末～2月にまとめたアンケート結果をもとに、次年度の7月に要望書を提出する年度またぎのサイクルでしたが、アンケート集約と要望書提出が同じ年度内で完結できるよう、来年度役員への提案をすることとしました。

★次回のフレンキョウニュースは3月配信予定です



フレンキョウホームページ

<http://furenkyou.webnode.jp/>

Mail : furenkyou2019@gmail.com